

「国連水会議2023」等への参加について（報告）

3月21日から24日にニューヨーク国連本部で開催された「国連水会議2023」及び「第6回国連水と災害に関する特別会合」において、大西市長が第4回アジア・太平洋水サミットの成果と熊本地域の地下水保全の取組を発表しましたのでご報告します。

1 第6回国連水と災害に関する特別会合

（1）第6回国連水と災害に関する特別会合 科学技術パネル

- ・日 時：3月21日 11:30～13:00
- ・会 場：NY国連本部トラスティーシップカウンスル
- ・主 催：水災害・リスクマネジメント国際センター（ICHARM）



（参加者による集合写真）



（発表の様子）

市民・事業者・行政の協働による地下水保全の取組やVRを用いた防災訓練など、熊本市の健全な水循環、流域防災への取組、そして、新しい水文化の創造について発表した。

2 国連水会議2023

（1）国連水会議2023サイドイベント

「アジア太平洋地域における水の強靱性、持続可能性、包摂性に対する今後の道筋」

- ・日 時：3月22日 13:15～14:30
- ・会 場：NY国連本部トラスティーシップカウンスル
- ・主 催：日本（国交省）等



（会場全体の様子）



（高校生も会議を傍聴）

開会の挨拶では、水は生活に欠かせないものである一方で生命と生活を脅かすものであり、世界の水問題は深刻化していること、本市は多様なステークホルダーと更に連携を強化することで持続可能な取組を展開し、世界の水問題解決にも貢献することを述べた。

(2) 国連水会議2023サイドイベント「地下水管理に特化したイベント」

- ・日 時：3月24日 8:00～9:15
- ・会 場：NY国連本部トラスティーシップカウンスル
- ・主 催：ユネスコ等



(熊本市の事例を発表する大西市長)



(会場全体の様子)

「観測データと科学技術を活用した効果・効率的な地下水保全の取組」と題し、熊本の地下水の仕組み、地下水を守る「熊本市地下水保全条例」や保護活動について発表した。

(3) 国連水会議2023サイドイベント「ユースセッション」

- ・日 時：3月24日 11:00～12:15
- ・会 場：カンファレンスルームC
- ・主 催：JWF等



(ユースへの支援について意見交換)



(セッションに参加した高校生)

上川陽子衆議院議員を交え、ユースの皆さんと世界の水問題に関する意見交換を行った。このセッションには、熊本商業高等学校から2名が参加し、英語で発表を行った。

【まとめ】

「国連水会議2023」等に参加し、世界各国の大臣や国際機関の代表者や次世代を担うユースなどの水問題解決に取り組む様々なステークホルダーと意見を交わし、ネットワークを構築することができた。

また、自治体として発表をしたのは本市のみであり、国連の場で「熊本」の名を改めて世界に広めることができた。

今後、世界から評価された本市の地下水保全活動を国内外へ更に発信するとともに、次世代を担うユースの育成やネットワーク作りなど、ユース世代の活動の支援を進める。